

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第3区分
【発行日】令和5年2月24日(2023.2.24)

【公開番号】特開2021-132277(P2021-132277A)
【公開日】令和3年9月9日(2021.9.9)
【年通号数】公開・登録公報2021-042
【出願番号】特願2020-26108(P2020-26108)
【国際特許分類】

H 0 4 N 2 3 / 6 5 (2 0 2 3 . 0 1)

H 0 4 N 2 3 / 6 6 7 (2 0 2 3 . 0 1)

【F I】

H 0 4 N 5 / 2 3 2 4 1 1

H 0 4 N 5 / 2 3 2 4 5 0

【手続補正書】

【提出日】令和5年2月15日(2023.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮像手段と、

前記撮像手段に接続され、前記撮像手段からの画像データを受ける第1の集積回路と、
記録媒体と接続し、前記第1の集積回路からの前記画像データを前記記録媒体に記録する
第2の集積回路と、

前記第2の集積回路に電力供給を開始してから前記第2の集積回路と前記記録媒体との間
のデータ転送が可能になるまでの時間に関する時間情報を保持する保持手段とを有し、

前記第1の集積回路は、撮影待機状態において前記第2の集積回路への電力供給を遮断
し、撮影状態において前記第2の集積回路に電力を供給するように制御を行い、前記撮影
待機状態から前記撮影状態に移行する場合に、前記保持手段に保持されている前記時間情
報に基づいて前記第2の集積回路に電力供給を開始するタイミングを制御することを特徴
とする撮像装置。

【請求項2】

前記第1の集積回路は、前記保持手段に保持されている前記時間情報が所定の閾値以上
であるか否かに応じて、前記第2の集積回路に電力供給を開始するタイミングを制御する
ことを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

前記第1の集積回路は、前記保持手段に保持されている前記時間情報が第1の閾値以上
であればシャッターボタンの半押しを検出したことに応じて前記第2の集積回路への電力
供給を開始し、前記第1の閾値以上でなければ前記シャッターボタンの全押しを検出した
ことに応じて前記第2の集積回路への電力供給を開始することを特徴とする請求項1に記
載の撮像装置。

【請求項4】

前記第1の集積回路は、前記撮像手段からの画像データに対して記録のための現像処理を
行う現像処理手段を有し、

前記第1の集積回路は、前記撮影待機状態において前記現像処理手段への電力供給を遮
断し、前記撮影状態に移行する場合に、前記保持手段に保持されている前記時間情報に基

10

20

30

40

50

づいて前記現像処理手段に電力供給を開始するタイミングを制御することを特徴とする請求項 1 から 3 の何れか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記第 1 の集積回路は、前記撮像装置から前記記録媒体が抜かれたことを検出した場合、前記保持手段から前記時間情報を削除することを特徴とする請求項 1 から 4 の何れか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 6】

撮像手段と、前記撮像手段に接続され、前記撮像手段からの画像データを受ける第 1 の集積回路と、記録媒体と接続し、前記第 1 の集積回路からの前記画像データを前記記録媒体に記録する第 2 の集積回路とを有する撮像装置の制御方法であって、

前記第 2 の集積回路に電力供給を開始してから前記第 2 の集積回路と前記記録媒体との間のデータ転送が可能になるまでの時間に関する時間情報を保持手段に保持する保持工程と、

前記第 1 の集積回路が、撮影待機状態において前記第 2 の集積回路への電力供給を遮断し、撮影状態において前記第 2 の集積回路に電力を供給するように制御を行い、前記撮影待機状態から前記撮影状態に移行する場合に、前記保持手段に保持されている前記時間情報に基づいて前記第 2 の集積回路に電力供給を開始するタイミングを制御する制御工程とを有することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項 7】

前記制御工程では、前記保持手段に保持されている前記時間情報が所定の閾値以上であるか否かに応じて、前記第 2 の集積回路に電力供給を開始するタイミングを制御することを特徴とする請求項 6 に記載の撮像装置の制御方法。

【請求項 8】

前記制御工程では、前記保持手段に保持されている前記時間情報が第 1 の閾値以上であればシャッターボタンの半押しを検出したことに応じて前記第 2 の集積回路への電力供給を開始し、前記第 1 の閾値以上でなければ前記シャッターボタンの全押しを検出したことに応じて前記第 2 の集積回路への電力供給を開始することを特徴とする請求項 6 に記載の撮像装置の制御方法。

【請求項 9】

前記第 1 の集積回路は、前記撮像手段からの画像データに対して記録のための現像処理を行う現像処理手段を有し、

前記制御工程では、前記撮影待機状態において前記現像処理手段への電力供給を遮断し、前記撮影状態に移行する場合に、前記保持手段に保持されている前記時間情報に基づいて、前記現像処理手段に電力供給を開始するタイミングを制御することを特徴とする請求項 6 から 8 の何れか 1 項に記載の撮像装置の制御方法。

【請求項 10】

前記第 1 の集積回路が、前記撮像装置から前記記録媒体が抜かれたことを検出した場合、前記保持手段から前記時間情報を削除する工程を有することを特徴とする請求項 6 から 9 の何れか 1 項に記載の撮像装置の制御方法。

【請求項 11】

撮像手段と、前記撮像手段に接続され、前記撮像手段からの画像データを受ける第 1 の集積回路と、記録媒体と接続し、前記第 1 の集積回路からの前記画像データを前記記録媒体に記録する第 2 の集積回路とを有する撮像装置にて、前記第 1 の集積回路のコンピュータに、

前記第 2 の集積回路に電力供給を開始してから前記第 2 の集積回路と前記記録媒体との間のデータ転送が可能になるまでの時間に関する時間情報を保持手段に保持させる保持ステップと、

撮影待機状態において前記第 2 の集積回路への電力供給を遮断し、撮影状態において前記第 2 の集積回路に電力を供給するように制御を行い、前記撮影待機状態から前記撮影状態に移行する場合に、前記保持手段に保持されている前記時間情報に基づいて前記第 2 の集

10

20

30

40

50

積回路に電力供給を開始するタイミングを制御する制御ステップとを実行させるためのプログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本発明に係る撮像装置は、撮像手段と、前記撮像手段に接続され、前記撮像手段からの画像データを受ける第１の集積回路と、記録媒体と接続し、前記第１の集積回路からの前記画像データを前記記録媒体に記録する第２の集積回路と、前記第２の集積回路に電力供給を開始してから前記第２の集積回路と前記記録媒体との間のデータ転送が可能になるまでの時間に関する時間情報を保持する保持手段とを有し、前記第１の集積回路は、撮影待機状態において前記第２の集積回路への電力供給を遮断し、撮影状態において前記第２の集積回路に電力を供給するように制御を行い、前記撮影待機状態から前記撮影状態に移行する場合に、前記保持手段に保持されている前記時間情報に基づいて前記第２の集積回路に電力供給を開始するタイミングを制御することを特徴とする。

10

20

30

40

50